



# 旭小だより

美咲町立 旭小学校  
平成30年 10月 10日  
文責 光嶋 昭善



## 運動会を終えて

今年も雨で順延になりましたが、好天の下、運動会を行うことができました。スローガン通り、子どもたちは「声・知恵」を出しながら、また、難しいこと、苦手なことにも「勇気」をもって練習していました。短期間に集中して練習することで、「本気」になります。運動会では、その成果を出してくれていて、子どもたちの素晴らしさを改めて感じました。

保護者も皆様からも好評価が多く、ありがたく思っています。とりわけ、このような評価は学校としては、嬉しい限りです。

私たちが残した旭小の伝統を今でもしっかり受け継がれているのが伝わってきて非常に感銘を受けた。



「美咲音頭」ではなく、「旭音頭」であることに意義があるのです。

伝統とは、そのまま残すことではなく、絶えず変化させながら、その本質となるものを引き継いでいくことです。旭小の伝統は、感想の中にあつた次のような姿に表れていると、私はとらえています。

- 6年を中心にみんなが一生懸命つくりあげている。
- 下級生は上級生の指示にきちんと従うことができ、上級生は下級生の面倒をよくみることで、とても良い雰囲気小学校だ。
- 各リーダーの責任ある行動、それについていこうとして練習を頑張った子どもたちの姿が目につく。
- 誰一人として怠けることなく、一生懸命やっていた。

感想の中には、疑問も書かれていましたので、一部、回答いたします。

- 低学年リレーがトラックを使わないのは、保育園より後退している。
- アンカーが座ってのゴールは違和感がある。

低学年の折り返しリレーは多くの小学校の運動会でなされています。運動会が日常の体育学習の成

果を発表する場だからです。

保育園(幼稚園)は基本「遊び」です。「リレーごっこ」で走る楽しさやみんなで競走することの楽しさなどをしっかりと味わうことが大切なのだと思います。それに対し、小学校では「学び」です。保育園で味わった楽しさ・経験を基に、子どもたちの体力や感覚の発達段階を踏まえ、走ることやリレーの技術やルール・マナーなどを系統的(段階的)に身に付けさせます。見た目は、レベルが落ちているようでも、実はレベルは上がっているのです。(旭小だより 平成29年12月号)

9月号で述べたように、教科体育として、リレーをどのように学んでいくのかを見ていただくことも大切にしています。ご理解ください。

昨年より今年と、リレーの走り方、バトンの受け渡し

がスムーズになっていて、成長を感じられた。このような評価をいただいたことは、体育の学力がついているものとして、嬉しく思っています。



順位が違っていたのでは。得点種目なので訂正すべきだ。

折り返しリレーの学習では、トラックリレーとは異なるルールもあり、一見したのでは、わかりにくい面もあります。(そういう種目が運動会種目としてふさわしいのか、ということについては来年度に向け検討したいと思います。)その場にいた教員がそれをふまえながら判定したのですが、誤審であれば、申し訳ありません。一方、体育として大切なことは、審判の判定を受け入れるという態度を身に付けることです。体育の学力であり、道徳性です。教育としては、この面も重視しなくてはいけないことをご理解ください。

- 得点種目がもう少しあってもよいか。もう少し増やした方が盛り上がる。
- 種目が少なく、綱引きもなくなっている。
- 児童数減なので、2チームでもよいのでは。

児童数が減少する中で、種目数を増やすことは子どもの体力的にも、運営的にも、練習時間確保の上からも難しいことです。子どもの内面の盛り上がり(達成感・充実感)をこそ大切にしたいと考えています。



今、騎馬戦ができる小学校はほとんどありません。

今年、午前中開催にする学校もある中で、本校としては、地域・家族のつながりも大切にしたいとの思いで、午後も行いました。子どもたちの

健康への配慮、限られた練習時間などから、「綱引き」を削除したり、開会式を少し簡素化したりしました。PTAで購入いただいた大型扇風機も活用しました。

2020年度、新しい教育の完全実施に向けて、教育活動全体を見直しているところです。児童数の推移、近年の猛暑、エアコンのある教室環境等もふまえ、学校教育として、運動会も実施時期や内容について考えていかなければいけません。

PTA種目、テント設置エリアなどについては、PTAでも協議していただきます。敷地内禁煙につきましては、放送いたします。

## 学習発表会にむけて

11月10日(土)学習発表会を行います。ねらいは新しい教育をふまえて次のように考えています。

日頃の学習の成果を総合的に発展させ、全校児童、保護者、地域の方々に発表し、互いに鑑賞することを通して、

- 日頃の学習成果を発表する方法や鑑賞の仕方について理解し、その方法を身に付ける。(知識・技能)
- 互いのよさを認め合うことができる。(思考力・判断力・表現力)
- 助け合い協働して、積極的に取り組み、振り返り、自己を伸ばそうとする。(学びに向かう力・人間性)

学習発表会では体育以外の教科学習の成果の発表が中心となります。3年以上では総合的な学習の内容が中心となります。6年生は体験学習が半分済んだところ。いずれも中間発表的になるうかと思えます。4年生は、これから体験学習が本格的に始まるため、総合以外の発表になります。

「学んだことや体験したことから課題を見出す。」  
「それについて調べたり、討論したりして、自分の意見・主張を持つ。」「それらを相手にわかるように効果

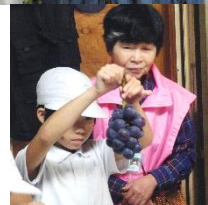
的に伝える。(特に、文章として)」これらの力が旭の子は弱いことが学力調査からも見て取れます。学習発表会はその力を伸ばすよい機会であると考えています。骨太の発表であってほしいと願っています。

## 総合的な学習の時間

総合学習の体験

学習は、「旭のすばらしさ、可能性を見出す」ことを主たるねらいにしています。「旭を守り育てる」人づくりの土台になります。

3年「ぶどう栽培」5年「棚田稲作」の体験学習が終了しました。鈴木農園、小山棚田米生産組合の皆様にはたいへんお世話になりました。



## 今後の予定

日	曜	主な行事
11	木	郡科学研究発表会 14:00 中央公民館
12	金	社会見学
13	土	1年学P 9:00
15	月	読み聞かせ(低) 視力検査
16	火	1・2年秋さがし(3・4校時) 委員会 アウトメディア週間(～23日)
17	水	避難訓練(地震) アフタースクール
18	木	郡特別支援学級交流会 久米南体育館
19	金	参観日 短縮5校時 4年学P 16:00 2年学P 19:00
20	土	美作陸上記録会
24	水	アフタースクール
25	木	交通指導
27	土	のびサタ 15:00 三休公園民話館
30	火	クラブ
31	水	短縮3校時・給食あり(町教員研修のため)
11/5	月	児童朝礼
7	水	小中合同あいさつ運動 アフタースクール
9	金	交通指導 発表会準備
10	土	学習発表会 短縮5校時 児童館奉仕作業
12	月	振替休業日

